

年 組 名前：



子猫に聴診器を当て、心拍数を確認する参加者
—中央・県動物愛護指導センター

獣医師の仕事 子どもが体験
県動物愛護指導センター
中央市乙黒の県動物愛護指導センターは、子どもたちを対象に、施設内を見学したり獣医師の仕事を経験したりするイベントを開いた。
2日に開かれ、親子連れ2組が、職員から犬や猫の体の特徴、オスとメスの見分け方などの説明を受けた後、センターで保護した子猫の体重測定や心拍数の確認をした。センター内のガイドツアーもあった。

将来獣医師になりたいという駿台甲府小5年の井上琥太君は「子猫の心拍数が速くてびっくりした。多くの動物を助けられる獣医師になりたい気持ちが強まった」と話した。
夏休みに動物愛護への理解を深めてもらおうと企画。新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して実施した。センターは動物愛護週間（9月20～26日）に合わせ、甲府・県立図書館で、動物愛護に関するパネル展や小学生による絵画展も予定している。

(2021年8月14日付 山梨日日新聞 18面)

問1 獣医師イベントの参加者が見学・体験したことで、正しいものに○を付けてください。

- 「 」 体重を測ったり心拍数を確認した 「 」 センター内の各施設を見て回った
「 」 けがをしている動物の手術をした 「 」 気に入った犬や猫をもらって帰った
「 」 オスとメスの見分け方を覚えた

問2 動物愛護週間はいつからいつまでですか。①～③に数字を入れてください。

「①月②日から③日まで」 → ① 「 」 ② 「 」 ③ 「 」

問3 犬や猫などをペットとして飼う上で、どんなことが大切だと思いますか。

.....

.....

.....